

家庭・地域と連携した信頼される学校づくり

越前町立宮崎中学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	4回
中学校区を単位とした協議会	5回
地域及び家庭への学校公開	10回10日

(2) 地域人材の活用(延べ人数)

講師・ゲストティーチャー	人数
	9人
その他	0人

(3) 特色ある活動

テーマ 「キャリア教育」

具体的活動内容

2年職場体験 9月27日～29日

宮崎地区18の事業所の方にご協力いただき、3日間にわたり職場体験を実施した。



タケウチ住建, 山内モータース, 宮崎学校給食センター, (株)三興, 石川技研(株)本社工場, (株)福井村田製作所宮崎工場, (株)新谷窯業, アンジョウ商店, 江雲堂, 越前焼工業協同組合, 鮎一, 宮崎石油(有), 陶寿園, 美容室ミント, 陶の谷保育所, 小曾原保育所, 中央保育所, 若竹荘

2年職場体験発表会 11月17日 1年生への発表会 12月8日

9月末に実施した職場体験学習について、学んだことをプレゼンテーションソフトを使ってまとめ、発表した。どのグループも写真をうまく活用したり、クイズや寸劇を取り入れたりするなど、工夫の跡が見られた。また、相互評価を行った。

12月には、代表の6グループによる発表会を1年生に開いた。



1年進路講演会 2月7日、9日

「家具のあさひ」社長 渡辺 重治 さん



「家具のあさひ」の渡辺重治社長さんには、下積みの頃の話をお伺いしました。営業に回っていたとき、お客さんから「おまえは商品を売ろうとしているからだめなんだ。まずは、渡辺という人間を売れ。」と忠告され、一念発起されたそうだ。営業で一番大事なことは、お客様との信頼関係である。

レ・プレジューール社長（パン屋さん）織田 充 さん

今、パン屋を経営しているからといって、中学校の時に勉強ができたわけではない。高校に入って、部活動を終えて帰りに食べていたパンの味が忘れられなくて、パン屋さんのドアをたたいた。パンの作り方が分かってくると、今度は自分で店を持ちたくなった。それで必死で勉強した。それが22歳の頃だった。一つの目標が見つかると、嫌いな勉強も大好きになった。僕がそうだったんだから、君たちも大丈夫。（中略）



生徒からの質問「仕事を通して学んだことは何ですか？」



僕は、高校を卒業したら勉強が終わると思っていた。これで自分も自由になったと思った。ところが、社会に出ると勉強が必要になった。たくさんの誘惑がある中で、どうやったら自分を磨けるか、そして、勇気を出して手を挙げること。ここぞというときに手を挙げなければチャンスはつかめない。それが仕事を通して学んだことだ。



エステティシャン 杉野 多美子 さん

エステティシャンの杉野多美子さんには、男子をモデルに実演しながら話を伺いた。以前は、会社で営業の仕事がされていた。でも興味があった分野にチャレンジし、仕事をしながらエステティシヤンの資格を取った。経験したことに無駄など一つもないとおっしゃっていた。



成果と課題

- ・ゲストティーチャーの方々の講演は、1年生の生徒たちにとって刺激的であり、説得力があり、職業観や勤労観を育成する上で効果がみられた。
- ・事前に2年生の職場体験の発表を聞くことで、自分たちの職場体験に対する意識も高めることができた。
- ・今後、話を聞くなどの活動において、積極的に質疑応答できたり、自分の考えと比べて聞くなどの言語能力を高めていく必要がある。